



中川幸廣 議員  
(白岡ビジョン)

**問** 路線バス運行後の状況と支援について

路線バスが7月1日より運行が開始された。2路線の運行だが東伸団地線は乗車人数が非常に少ない。業者としては赤字のままの運行は厳しいとのことである。この路線はコミュニティバスの色合いが強いので市として何らかの補助が出ないか伺う。

**答** 利用促進に向けた取組を実施していく

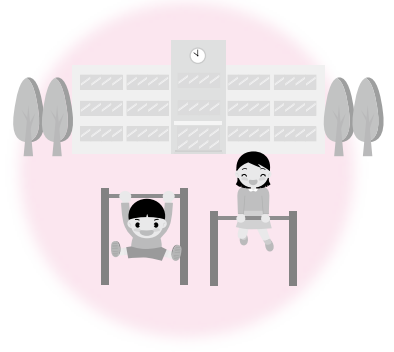
当該路線は、運行開始から日が浅い状況であることから、現在のところ、運行経費の補てんは考えていない。市では、バス購入に対する助成や事業運営に協力するための積極的な周知を行っている。今後も引き続き利用促進に向けた取組を実施していく。

**問** 学校開放時の道具や設備について

土曜日や日曜日の学校開放時に使用する道具や設備、その中に使用できない物があると保護者より相談がある。使用できない物を無理に使用し事故が発生する場合もある。これらの道具や設備の点検や修理は誰が行うのか伺う。

**答** 適切に管理していく

施設の鍵の管理や物品等の購入、修理などを学校開放運営委員会に委託しており、学校開放運営委員会が対応できない設備の修理、点検については、市教育委員会が行っている。今後も、利用団体が安全で快適に利用できるよう、道具や設備を適切に管理していく。



細井 公 議員  
(WAKABA)

**問** 都市計画道路白岡篠津線の現状について

都市計画道路白岡篠津線は、県道間のバイパスとして県道認定の要望が必要と考えるのがいがか。また、県道白岡停車場南新宿線との取付部の丁字路について、早急な信号機設置を求めるが考えを伺う。

**答** 関係機関等に要望や相談を行っていく

県道の認定は、道路法第7条の規定により実現は難しいと思われるが、埼玉県へ要望を行っていききたい。また、信号機は、久喜警察署から、交差点に歩行者の信号待ちの滞留場所が無いことから、設置は難しいと伺っている。対応を地元行政区長と相談していく。

**問** 白岡駅の駅員不在の問題について

白岡駅は利用客数がある程度順調に推移している状況であるにも関わらず、一部時間帯の駅員不在は変わらず、不便な状況が続いている。駅員は単に案内係ではなく、駅構内の安全点検の役割もある。住民の安全確保のためにも駅員の再配置を強く要望すべきではないか。

**答** 駅員不在時間帯短縮等の要望をしていく

改札係員不在時間帯の短縮及び改札係員不在時の安全対策の充実については、JR宇都宮線整備促進連絡協議会の活動を通じ、要望してきた。駅を利用している市民の安全と利便性に関わる問題であるので、今後も継続して要望していく。

